

教科	科目名		
福祉科	社会福祉基礎		
科目の種類	単位	形態	講座定員
3年エリア専門 選択	2	通年	29人

科目について	科目の概要	社会福祉に関する基礎的知識を習得し、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解し、福祉社会の向上をはかる能力を養う。高齢者福祉、障害者福祉、母子福祉について実際に働いている方々から話を聞き、自分で体験したい施設にアポイントを取り、体験学習をする。そこで学んだことを自分のものとして捉え、今後の進路に活かす。	選択条件	人文科学・課題探究・テクノ基礎・商業経済エリアの者
	年間の授業内容	<p>■(4月～1学期中間試験)12時間</p> <p>1. 現代社会と社会福祉 (障害者疑似体験学習)</p> <p>2. 社会福祉の理念と意義</p> <p>■(1学期中間考査～1学期期末考査)9時間</p> <p>3. 社会福祉の歴史 (文化祭への発表準備・総合的学習の時間と連携)</p> <p>4. 社会福祉分野の現状と課題</p> <p>① 児童福祉</p> <p>② 公的扶助</p> <p>■(1学期期末考査～2学期中間考査)15時間</p> <p>③ 高齢者福祉 社会人講師講話Ⅰ 介護の基本技術 (福祉施設体験学習①)</p> <p>■(2学期中間考査～2学期期末考査)15時間</p> <p>④障害者福祉 社会人講師講話Ⅱ (福祉施設体験学習②)</p> <p>■(2学期期末考査～3学期期末考査)19時間</p> <p>5. 社会福祉の担い手と福祉社会の展望 社会人講師講話②</p> <p>6. 国際社会と福祉の課題</p>	授業形態	社会福祉協議会の方と連絡をとりながら、外部講師の講義などを取り入れ、学校内外での体験学習やレポート学習を組み込んで行う。
			教科書・使用教材	教科書:『社会福祉基礎』(実教出版) 資料保存用バインダー(60円) 実習用ネームプレート(150円) 文化祭発表のための文具費若干 福祉実習については現地集合を原則とします。
			評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> 福祉についての基礎知識 福祉社会に関わる事象についての思考力 授業における自己表業力・コミュニケーション能力 福祉社会に対する関心
			評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 年5回の定期試験 課題の提出と発表 授業への参加態度 施設見学・体験学習の技能と態度
備考	施設見学があるので、身なり・服装については日常の授業から厳しく指導します。			